

神による啓示

(使徒の働き10・34〜43)

一、教会と「メッセージ」

34節に「そこで、ペテロは口を開いてこう言った。」と書かれています。その意味は「メッセージを語った」ということです。教会の集会に行きますと、ほとんどの集会で説教者がメッセージを語ります。おもしろい話、つまらない話、感動する話、全く感動しない話と様々ですが、共通していることがあります。それは、聖書からイエス・キリストを語っていることです。何気ないことのように思われるかもしれませんが、さかのぼりますと紀元30年のペンテコステの日に教会が誕生してから二千年続いています。その際、メッセージを語るのには教会の監督、今日で言う「牧師」が多かったようです。

「そこで、ペテロは口を開いてこう言った。」以降、ペテロはメッセージを語っています。すなわち、イエス・キリストの善き知らせを語りました。しかも、ユダヤ人として生まれ育ったペテロが異邦人に語っています。異邦人とはユダヤ人が使う用語で、「ユダヤ人でない汚れた人々」を意味します。かつてペテロは主イエスの弟子の筆頭格でした。そして今や、教会の重鎮です。そのペテ

ロが初めて、異邦人にメッセージを語ったのです。

二、神による啓示

ペテロは語りました。34節の続きから35節です。「これで私は、はっきり分りました。神はえこひいきをする方ではなく、どこの国の人であっても、神を恐れ、正義を行う人は、神に受け入れられます。」と。ペテロの出身地はガリラヤのベツサイダでした。イエスの時代のガリラヤ地方はとても保守的でした。先祖から伝えられた慣習にも忠実でした。そういうわけで、ペテロにとって異邦人と付き合うなどは、もつてのほかでした。ですが、ペテロは語りました。「これで私は、はっきり分かりました」と。何が分かったのでしょうか。「神はえこひいきをする方ではなく、どこの国の人であっても、神を恐れ、正義を行う人は、神に受け入れられます」と分かりました。実は、ペテロが分かったことの内容こそは、イエス・キリストの善き知らせなのです。

神はおひとりしかおられません。その、おひとりなる神はえこひいきをする方ではなく、どこの国の人であっても、神を恐れ、正義を行う人を受け入れられます。こういうことを、ユダヤ人として生まれ育ったペテロが分かったというのです。それを「啓示」と言います。ふつう「啓示」は、人が悟り得ない神秘

を、超自然的な閃きによって知ることを意味します。ですが、聖書で使われている「啓示」は、覆われていたものの覆いが取り除けられることです。ペテロは自分で悟ったではありません。聖なる神の働きによって知ったのです。

三、ペテロのメッセージ

36節以降は、ペテロが語ったメッセージの続きです。36節の前半をご覧ください。「神は、イスラエルの子らにみことばを送り、イエス・キリストによって平和の福音を宣べ伝えられました。」と語りました。これは、メッセージの要旨です。すなわち、実際はもつと長く語ったものと思われまます。「神は、イスラエルの子らにみことばを送り」は、旧約聖書に書かれていることの要約です。旧約の内容を一言でまとめるなら、イエス・キリストを指し示している書であると言えます。「神は、イスラエルの子らにみことばを送り」とは、そういう意味です。神はアブラハムを選び、アブラハムの子孫をイスラエルとし、イスラエルのユダ部族から救い主イエス・キリストを生まれさせられました。イエス・キリストは人でありましたが、神でもあられました。神はイエス・キリストによって御自身をあらわされたのです。「イエス・キリストによって平和の福音を宣べ伝えられました」と語られているように、です。

36節後半は、メッセージの中心です。「このイエス・キリストはすべての人の主です。」とペテロは語りました。「イエス・キリスト」と聞くと、多くの方が西欧の教会を思い浮かべるのではないのでしょうか。ですが、西欧の人々の神ではありません。すべての人の神であり、主です。

39節、40節をご覧ください。「私たちは、イエスがユダヤ人の地とエルサレムで行われた、すべてのことの証人です。人々はこのイエスを木にかけて殺しましたが、神はこの方を三日目によみがえらせ、現れさせてくださいました。」とあります。イエスが十字架にかかられたのは、私たちが受けなければならぬ、義なる神からの裁きを、身代わりに受けられるためでした。こうして、イエス・キリストを信じるだけで救われるという道が備えられました。そのことを、43節で語っています。「預言者たちもみなイエスについて、この方を信じる者はだれでも、その名によって罪の赦しが受けられると、証ししています。」と。「預言者たち」とは、旧約に登場する預言者たちのことです。イエス・キリストは神が遣わされた救い主であり、神御自身でもありました。このお方が私たちのために死んでくださったので、私たちはそのことを信じるだけで良いのです。信じるなら救われます。